府民大会「不振の運動部」

水泳部 大手前に先づ快勝

クラブ展望

初夏の訪れと共に、本校各運動部の活動は一段と活発化し、第六回府民体育大会の予想外の不成績を挽回さんと面目を一新、猛練習にはげんでいる。夏季の練習如何が実力を左右するものだけに、秋の府民大会を目指しての練習振りを、試合を通してのぞいてみよう。

陸上競技部

過日行われた府民大会において、本校陸上競技部の振わなかった原因は、まず練習中の故障の続出と、もう一つは、大会を前にして会員のコンディションがそろわなかったためである。最も有望視された石井選手が本校の運動場の状態が良くなかったために、足の故障があり、このために会員の士気が振わなかったためもある。「今秋の大会には夏季に猛練習を行って、ベストコンディションをもって試合にいどむつもりである」と部長もいっているように今度の二の舞は繰返さないようにしてほしい。砲丸投に新人ではあるが、馬場選手が居り、実力に比して経験の少ないことが難点であるが、試合を重ねることによってこの点も解消するので今後に期待ができる。

（硬式野球部の練習）

硬式野球部

昨秋近畿大会に第四位を占め、今年度の活躍が期待されていたが春期近畿大会大阪予選第一回戦に早くも敗退、前途を危ぶまれる成績であった。しかしそれ以来猛練習試合を重ね経験を積み、日頃の練習の結果を発揮しようと努めているにもかゝわらず、上位打者の不振が続いて依然として芳しからぬ成績を残している。しかも今夏の大阪予選に強敵市岡、扇町、浪商、八尾等を相手に廻して果してどれだけの成績を上げ得るか、今後の練習如何にかかっている。

水泳部

暑夏を迎えて水泳部は我等の天下とばかり早くも練習を開始、去る九日大手前プールにおいて大手前高校と練習試合を行い54－43で軽く一蹴した。

排球男子

昨年活躍した六人の選手が抜けて今年は苦しい。西日本大会には昨年のまゝのメンバーで出場する松原高校、それに昨年本校が準決勝に苦戦した城元の[illegible]高校が有力である。元来本校は守備より攻撃のチームであり、大阪随一の赤瀬主将（三）を中心に強かったバックを山本（三）が固め、前衛に久野（二）がいる。新人は真本（一）が有望で次で神農、長身の冬原、丸野がいる。今後の練習方針としては冬休みに合宿練習をし、試合には新人を出して試合に慣れる様にしたい。

籠球部男子

山本西校に敗れた原因は現在の五人のメンバーで補欠が見劣りするためにレギュラーが最後まで戦うので非常に疲れる。新人に望む事はクラブ活動に関心を持ち進んで練習に参加してほしい。

排球部女子

対大谷戦に力一ぱい戦ったが接戦の末惜敗した。敗因はチーム力の不充実、練習量の不足等による。尚当部には将来性のある新人が若干入部しているので今後に期待がかけられる。

蹴球部

今年五人の卒業生を送り出し新たに六人の新人を入れこれからの進歩に期待が持たれる。今後の方針として放課後の練習は練習によって左右されるが夏期の合宿で全員頑張ってくれるだろう。